

NPO法人 日本の森バイオマスネットワーク 活動紹介

森林と共生する復興の実現に向けて

2011/12/17



NPO法人 日本の森バイオマスネットワーク
副理事長 大場 隆博

(資料提供)

(株)さいかい産業 古川正司
東北芸術工科大学 三浦秀一

NPO法人日本の森バイオマスネットワークとは

●沿革

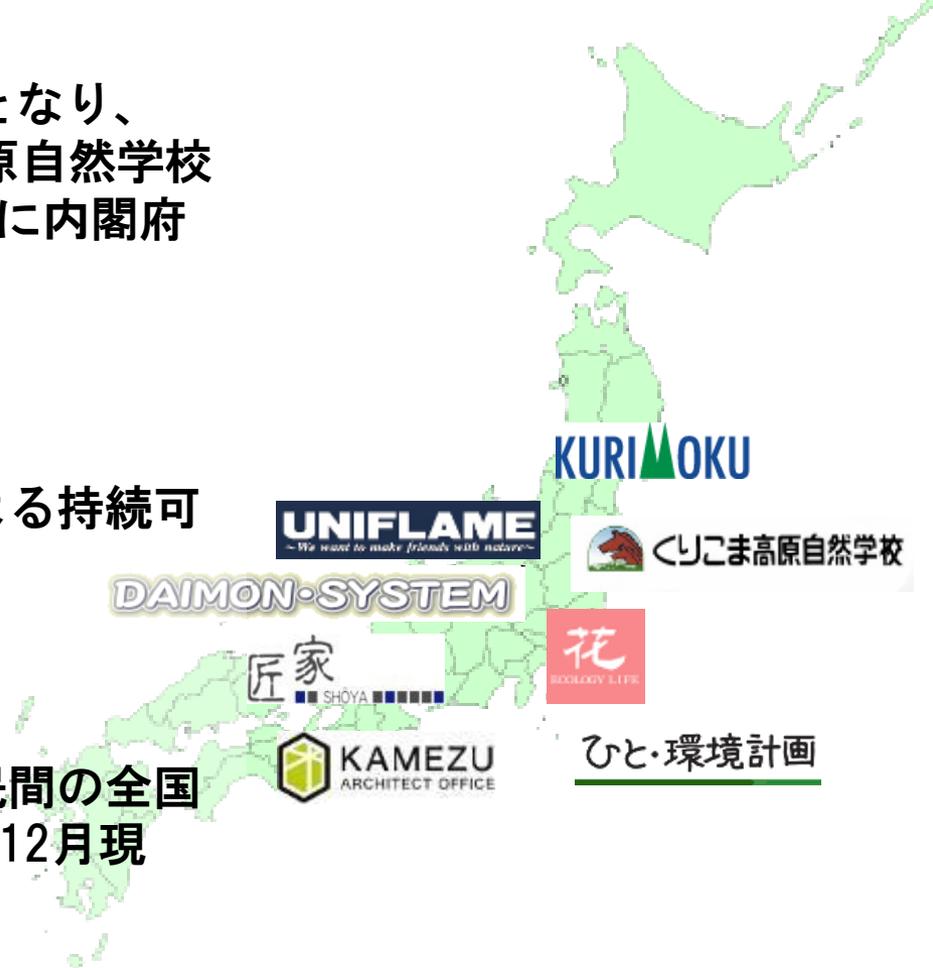
2008年の岩手・宮城内陸地震がきっかけとなり、2009年12月に宮城県栗原市のくりこま高原自然学校と栗駒木材が中心となり設立。2011年9月に内閣府認証NPO法人化。

●理念

木質ペレット燃料や国産材の活用促進による持続可能な地域社会の実現

●組織構成

自然学校、製材所、工務店などからなる民間の全国ネットワーク組織。会員数101名（2011年12月現在）。



震災前の主な活動

- ・ 木質ペレット燃料の普及啓発
- ・ 森林についての環境教育
- ・ 排出権取引（J-VER制度）
- ・ 工務店等とのネットワーク構築



さいかい産業製ペレットストーブ SS-1



森のようちえん



環境教育講座「森を考えるカフェ」

私たちの目指す地域の姿



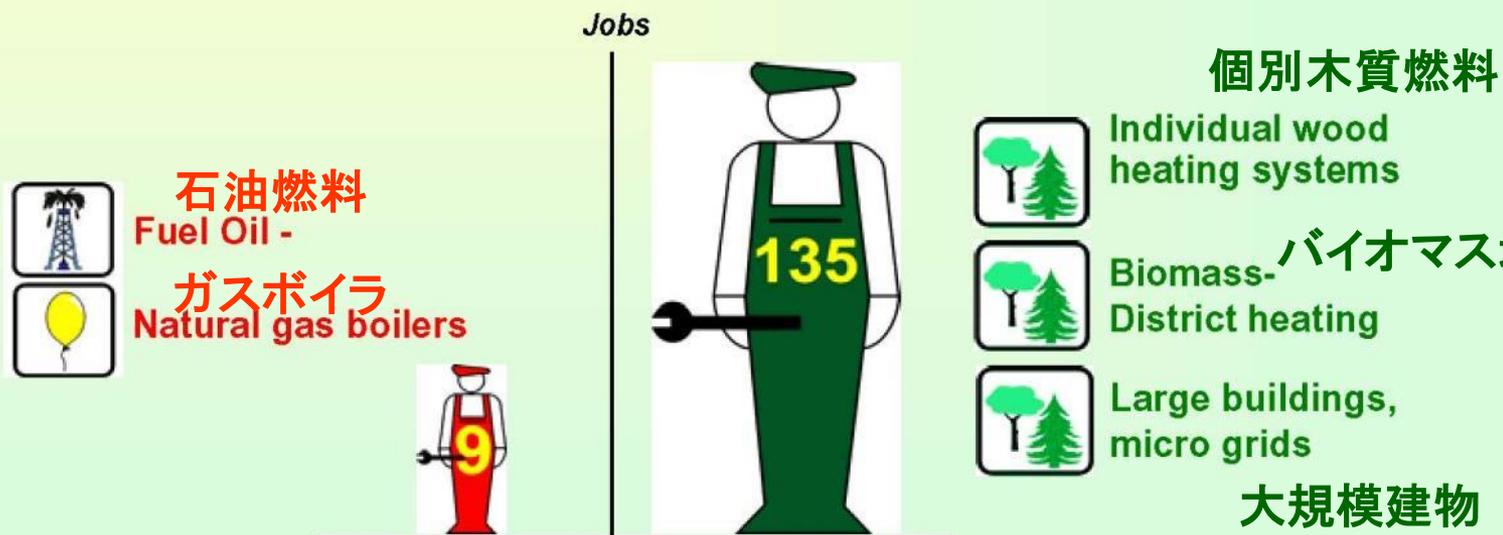
森林エネルギーは地域の雇用を生む

バイオマス暖房による雇用創出 Job Creation by Biomass heating

Example: Village with 10.000 inhabitants

例: 人口1万人の町 4.000 Flats, Public and commercial buildings

住宅4000棟、公共施設、業務施設
40 MW heat load



Quelle: Österreichischer Biomasseverband

東日本大震災 緊急支援活動（2011年3月～4月）



●沿岸部の避難所に計43台のペレットストーブを設置。

●支援物資として食料や衣料なども1000箱以上配布。



組手仕の制作



国土緑化推進機構の支援事業として、
組手仕を制作し、避難所や仮設住宅に配布



緑の募金

プレハブ仮設住宅の問題点が浮き彫りに

土地や
建築資材が
不足

結露や騒音
低断熱

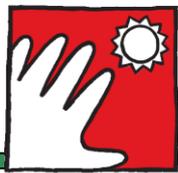
地元経済に
対するプラス
効果が薄い

建物の
使い捨て

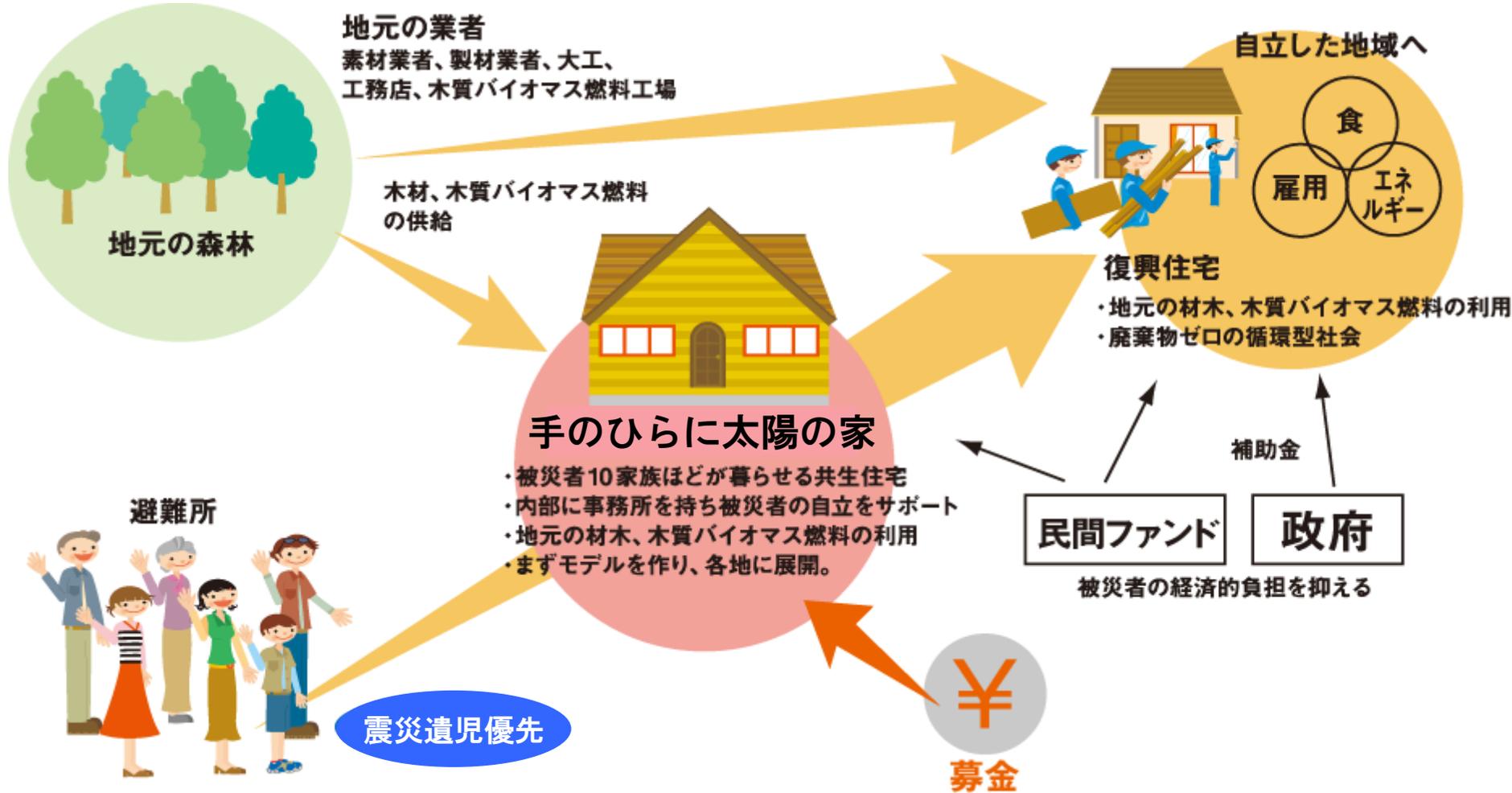


仮設住宅に代わる安心して暮らせる生活の場を！





手のひらに太陽の家プロジェクト構想



(株)モンベルの支援により建設決定



- 宮城県登米市登米町に建設決定
- 国産材、自然素材、太陽光発電やペレットボイラーなどを取り入れた共生住宅
- 12月着工、来年3月竣工
- 被災した子どもや福島からの自主避難希望者を受け入れる
- 将来的には環境教育の拠点に

mont·bell

大阪に拠点を置く国内最大手の
アウトドア用品メーカー

森林エネルギーを活用した復興に向けて

- ・ 移動式ペレットプラントのデモ稼働。
- ・ 全国の先進事例を紹介する講演会を実施。
- ・ 被災地の社会福祉施設等にペレットストーブを無償提供。



行政・事業者・市民が一体となり
エネルギーと雇用の自立した復興の実現へ！

